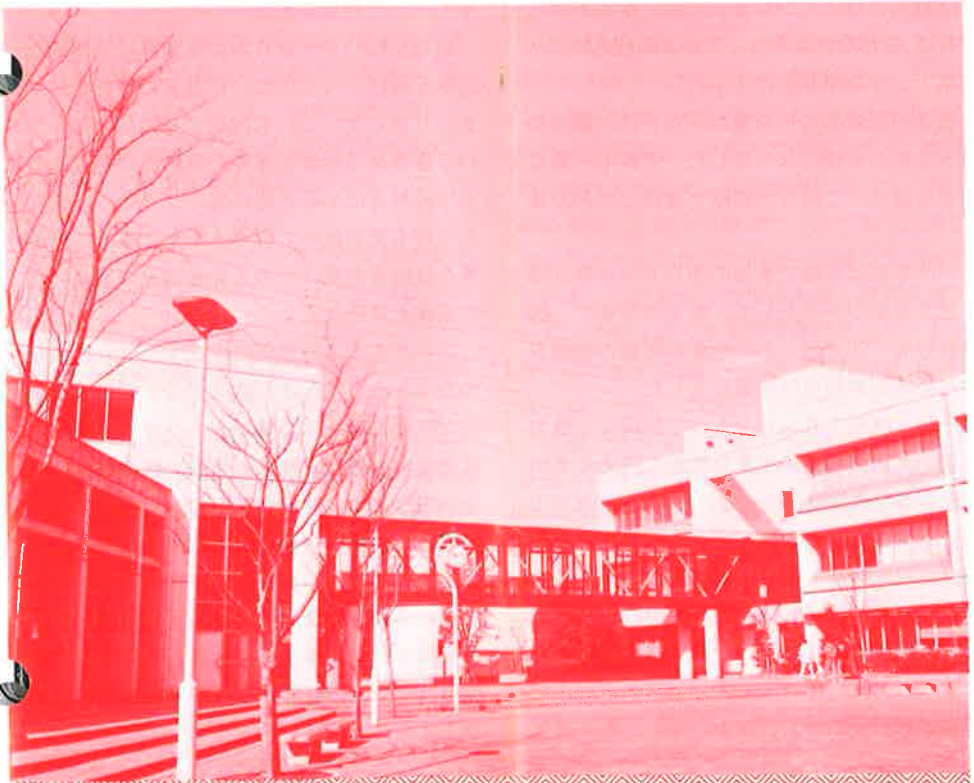


大同工業大学

# 同窓会報

第15号

平成3年1月1日



# 迎春



## 年の始めにあたり

大同工業大学同窓会会長 園原 繁

新年明けましておめでとうございます。同窓会員の皆様におかれましては、本年も新たな目標、新たな飛躍を胸に新春を御迎えになった事とご推察申し上げます。

私共の同窓会も年を重ねるごとに、歴史の重みを感じる様になりました。これも一重に同窓生諸氏のご努力の御陰と確信しております。

一昨年には皆様ご承知の通り大同学園50周年記念事業の一つとして、地上四階建て、図書収容能力20万冊、その他最新新鋭の設備が整った新図書館が開館致しました。

そして昨年7月31日をもって皆様にご協力を頂いた新図書館建設募金活動を終える事ができ図書館建設資金の一部として2,000万円の寄付をする事が出来ました。しかしこの募金活動は同窓会にとって、もう一つの無形の財産を残してくれました。それは母校を思う気持ち、同窓生の親睦、同窓会の活性化等があります。これらの財産をこれから大事に広げていく事が大切であります。そんな折昨年

8月に三重支部が発足した事は大変喜ばしい事の一つであります。

話題を転じますが日本の産業界は飛躍的な進歩を遂げ、今迄にない好景気の中を走ってまいりました。これも技術開発の源となっている優秀な技術者を多くの産業界に送り込める学校教育にあると思います。その一角を我が母校も充分担って参りました。またその優秀な技術者を受け止める先輩諸兄の産業界での活躍も見逃せません。

昨年度までの好景気に少しずつ陰りの出始めるであろう本年度は我々が長い間培った地道な努力が実を結ぶ時でもあります。それには今迄にも増して幅広い情報の収集が必要になってきます。同窓会をそんな場として頂き同窓会員の暖かい輪を築き、より一層の同窓会員の皆様のご発展を願います。

今後共同窓生諸兄におかれましては、益々御活躍されます事を御祈り致しますと共に同窓会及び母校の発展に御理解と御協力を賜わります様お願い申し上げます。

## 支部だより

### 後援会協賛支部総会開催 主旨について

62M：杉浦正勝

一昨年の10月中旬頃、名城大学同窓会の呼掛けで、名古屋市内の私立大学12校が愛知会館に集まり、各大学での同窓会の運営方法等について討論する機会に出席することが出来た。そこで、各大学とも、同窓会費の徴収方法、機関誌、名簿作成、支部の活性化等について、それぞれ問題点を抱えている様子であった。

その中で、中京大学の同窓会の支部活動が非常に印象に残っている。それは、支部活動の状況であった。他の大学の報告にもあったが、各支部が年1回各都市で支部総会を開催するが、なかなか同窓生が集まらず苦戦しているとの声がほとんどであった。我が大同工大もすでに、支部が関東、大阪、豊田、静岡、香川、北陸、三重と7支部出来ている。その中で三重支部が昨年9月に発足して盛大に設

立総会が行われた。三重支部以外も毎年支部総会が行われ、関東支部を除き、集まりが、いま一步といったところである。そこで、今回、中京大学が採用している方法を我が同窓会も参考にさせて頂くことにした。それは、同窓会と後援会とが手を組み、合同で懇親会を行えば色々な面で活性化が出来るということである。大同工大の後援会も毎年7月の始めから8月の中旬にかけて各地方で後援会の総会を開催している。各会場には、後援会の役員さんはもとより、大学から多くの教職員が参加している。このように、合同で行えば同窓生の皆さんも懐かしい教職員の方々と合うことが出来、大学の現況がわかると思う。

今回、後援会の皆様のご理解を頂き、昨年の7月に大阪支部と静岡支部において、試験的に合同の懇親会を持つことが出来た。結果は大成功であった。今年は、岐阜支部の設立を計画しているが、昨年の大阪、静岡支部に加え、岐阜支部の3支部で合同の懇親会を計画していますので、その近辺にお住まいの同窓生は、是非、ご出席ください。

今後、毎年1支部ずつ合同懇親会が開催出来るよう努力していきたいと思っていますので、ご期待下さい。

### □ 大阪支部

去る7月27日に大阪支部総会を道頓堀、がんこ寿司にて開催する事が出来ました。今回は7月28日に大学の後援会大阪地方懇談会が開かれ、多数の教職員の方が来阪される為、その懇談会とドッキングする形でその前日に開催日を設定しました。その為、今までにない大勢の方々、教職員13名、後援会3名、同窓生12名、計28名の参加を得ることができました。当日は先生方との旧交をあたため、又同窓生同士の親睦を深める事の出来た有意義な一日でした。

次回も今回の様な機会を捕えて開催出来たらより多くの方々に参加頂けるのではと考えております。まだ一度も参加されたことの無い人、次回の総会には是非どんな会なのか覗きにきてください。

大阪支部長 佐久間 正 晃



### もくじ

○年の始めにあたり 同窓会会長 園原 繁	2	○キャンパスだより	8
○支部だより	3	○大同学園50周年記念事業	
○サークルだより	5	新図書館建設に伴う寄付募金の報告	9
○お元気ですか	6	○事務局だより	11
○大学だより	7	○編集後記	12

## □ 静岡支部

静岡地区在学生父母の懇談会に出席される先生方と第4回静岡支部同窓会を行いました。新しい図書館、現在の大学の様子、在学時代の思い出、そして勤め先のPRや求人活動など先生方と同窓生との話がはずみ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

今回、都合により平日の夜に行うため、出席者がある心配していましたが、前回以上の出席者となりました。又仕事の都合、時間的なことで出席できない人が多く見えたので、今後同窓会本部とも相談し、一人でも多くの人が参加できるようにしていきたいと思っています。

静岡支部同窓会 原田光康

## □ 三重支部

### 「第1回三重支部総会について」

去る、8月12日(日)四日市都ホテル朝明の間において、第1回三重支部総会がとり行われました。卒業生21名と恩師(機械工学科伊藤昇一先生、応用電子工学科 岩間三郎先生)2名をお招きし総勢23名の出席者にて盛大に開催されました。初代支部長は63M118森十九男さんにて、お世話願うことになりました。

今後、毎年支部総会を開催したいと思っていますので、卒業生の皆様方の御参加、御協力をお願いいたします。



## □ 関東支部総会

年一度同じ月、(6月24日)同じ場所(葵丸進)で行う関東支部の集まりも今年で第8回目になりました。毎年新人が出席し、第一期から?期まで電気、機械、建設、応電を問わず、和やかな雰囲気で一時的に過ぎました。当日は天候に恵まれ、浅草観音も大変な賑わいでした。一次会終了後二次会に繰り出し、楽しい語らいができました。また来年の再会を約束して無事終了した。

## □ 豊田支部

大同学園創立50周年記念事業の募金の会を兼ねて例年より早く7月29日に急ぎよ開きました。時期的に難があり多くの出席はみられませんが、初めて出席された方もあり、互いに直ぐ解け合い仕事の紹介、技術面での情報交換などで話が弾みました。また、同窓会本部より頂いた新しい図書館をはじめとした学園の情報からその発展ぶりに驚かされたり、変わらぬ部分に懐かしさを感じたり、楽しい一時でした。気楽に語り合い、様々な益を得ることが出来る会ですので、豊田市に在住、勤務の同窓生の皆さん、一度出席して下さい。

佐藤 洋



# サークル だより

クラス会、クラブOB会、職場会等のサークルの活動状況をお知らせ下さい。このコーナーを伝言板にご利用下さい。

## ■ 尾張支部(仮称)

### 発足懇談会開催

去る12月1日、愛知県在住の卒業生有志によって尾張支部(仮称)発足準備の懇談会を行いました。愛知近郊には、豊田支部がすでに活動されていますが、名古屋市近郊に在住する会員を中心とした支部がないことから設立の提案をします。

なお、発足にあたり、ご意見、ご要望をハガキもしくはFAXにて下記までお寄せ下さい。

提案者 〒455 名古屋市港区築三町3-6  
名港印刷内 68M 下郷正二  
FAX 052-652-3315

## ■ 燎会

昨年9月15日には愛知会館において「燎会20周年記念・佐土根範次先生古希お祝い」祝賀会を開催致しました。

佐土根先生ご夫妻、中山忠巳先生夫人をはじめ総勢64名の参加者でした。出席者並びに協賛戴きました各位に厚くお礼申し上げます。

燎会幹事



## ■ 66会20周年記念

第一回66会の同窓会が盛大に愛知会館(11月11日)で行われました。卒業して20年ぶりに見る顔はどんな顔であろうか。まったく変わらない顔、わずかに面影が残っている顔など、人それぞれ20年の年輪を刻んではいるものの、いざ話してみると20年前に戻ってしまう、ここが気兼ねなく話せる同窓の良さであろう。

当日は46名の同窓生と学長他6名の恩師が集まり、2時間30分があっという間に終わってしまった感があります。久しぶりに同窓と語る言葉には、何とも言えない深い感慨が各人にあったようです。これを機会に何年かに一度66会をやるという声が会場いっぱい広がり、大変な盛り上がりを見せました。最後に手拍子と校歌を披露しお互いに次回の再会を約束しました。(66M S. N.)



# お元気ですか

74E149 三井田洋一  
〒945 新潟県柏崎市



① ② ③ ④  
49-57-64-74-69-78-85

何だかわからない数字ですが、①は入社の際の体重です。②は、大同へ入学した時、③は委託課程が終了したとき、④は、現在です。

先日（H2年7月26日）ドイツの人がホームステイで、柏崎に来ていましたので、逢わせてもらいましたが、覚えていた単語は、グーテンモルゲンだけでした。大学時代は、遠くなりにけり！が今の気持ちです。

会社（リケン）では年1回、もちまわりで同窓会が開かれています。

以上

H. 7. 29 記入

72M168 鳥居重信

〒446 安城市



拝啓、卒業生のみなさまお元気ですか。

私も卒業して早や14年もすぎてしまいました。月日の過ぎるのが大変早く感じられる今日このごろです。私は昭和51年4月に卒業し、刈谷に本社がある(株)東陽に入社しました。当時はオイルショック後で就職口も現在の様な状況でなく、大手の会社でも採用しなかった為大変苦労しました。

現在の会社は当時30名弱の小さな商社でしたが現在では年商315億円（90年度）社員500名になりました。当社には、大同工業大学卒業生が私を含めて3名居て全員元気でやっています。

その内1人は現在アメリカのインディアナポリスに弊社と丸紅との共同出資の会社PTSに出向しています。

86E060 杉本直毅

〒661 尼崎市

(園田寮)

現在、菱電特機(株)にて防衛庁向け固定式レーダ装置のシステム設計や関連カードの設計を担当しております。

来年より長期出張の予定が入っておりますが、それまでに体力、気力を養成したいと考えております。

同窓会役員の方、会員名簿作成ご苦労様です。

小生は、現在、大同特殊鋼(株)機械事業部鉄鋼設備第一販売チームの課長として溶解精錬設備の営業を担当しています。

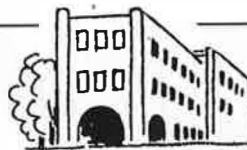


静岡へ来て3ヶ月が経ちました。名古屋市内に比べると、道路がとても狭くて一方通行や右折禁止等道路の規制の多いのに驚きました。仕事は想像していた以上に厳しくて学生時代がとてもなつかしく思い出されます。静岡へ来て良かったと思える日が一日も早く来る事を願って毎日の仕事に精を出しています。



元気でやっていますが地方勤務のため同窓会は出られないのが残念です。

同窓会の益々の発展を期待しています。



# 大学だより

## ■特別講演会

●平成2年4月24・27日/5月8・15日

オレゴン大学（アメリカ）

Gary H. Searl 教授

「Origins of the American Cultural Landscape」

「Spatial Structure of American Cities」

「Cultural Landscapes of U. S. A.」

「Consumption in the United States of America」

●平成2年9月19日

ノッティンガム大学（イギリス）

Dr. Malcolm S. Raven

「薄膜超伝導体の低周波領域アドミタンス」

●平成2年10月25日

Wollongong 大学（オーストラリア）

N. Standih 教授

「抽出冶金法におけるマイクロ波の応用」

●平成2年11月1日

コペンハーゲン大学（デンマーク）

Claus Schaffer 教授

「分子軌道模型として、また配位子場模型としての角重なり模型」

●平成2年11月13日

中国科学院声学研究所

趙永義 助教授

鄭大瑞 助教授

「中国における航空機騒音の現状について」

●平成2年11月14日

中国科学院声学研究所

関定華 研究所長

「中国における音響学の歴史」

●平成2年11月26日

(電気学会東海支部主催学術講演会)

東京大学先端科学技術研究センター

榎 裕之 教授

「半導体デバイスと量子効果」

## ■国際交流宿泊施設設置される

国際交流における大学相互の教育と研究の促進に資するために、宿泊施設が市内昭和区・シャトレ北山の一室に設置されました。おも

に大学が招聘した外国人の利用に使用されます。

# キャンパスだより

## クラブ大会成績

### ◎バレーボール

6/28~7/1

西日本バレーボール大学男子選手権大会  
(兵庫県立総合体育館、予選リーグ落ち)

9/23~10/21

東海男女バレーボールリーグ戦秋季大会  
(入替戦 大同工大2-0名工大:2部昇格、3部全勝優勝)

### ◎漕艇部

7/27~7/29 中部選手権競漕大会

(石川県津幡漕艇競技場、ナックルフォア及びシェルフォア準決勝進出)

### ◎弓道

11/3

第34回東海学生弓道秋期リーグ戦 入替戦

(名古屋商科大学、南山大82本×78本大同工大、4部のまま同部優勝)

※同上 個人戦

吉田章良 (88M225)

的中率8割 (32/40本) にて、5位入賞

### ◎ダンス

11/23 7種目戦 (中川区役所)

川崎光司(87D036)団体戦WQ 準決勝出場

" " ラテン 下位決勝"

## 平成2年度 学内レガッタ大会成績

日 時:平成2年11月25日(日)

8:30~17:00

場 所:庄内川ポートコース

参加者数:約300名(60クルー)

(成績)

### ◎一般の部

優勝…「国連平和協力隊」チーム(学生会OB)

[杉原和忠(76A061)、冨田幸治(76A078)

大谷 隆(76A021)、長 隆義(76A028)

高木明朝(76A067)]

2位…FAST AND FURLOUS

[中山慎一(88M157)、永井俊光(88M158)

谷口英樹(88M139)、成瀬英司(88M162)

福井雅一(88M186)]

3位…西成警察署(ゴルフ部)

[品川浩志(89D063)、永谷修一(89E098)

竹内琢也(89A056)、藤吉栄治(89M172)

稲熊宏次(90D012)]

### ◎クラブの部

優勝…EDPS OB2(EDPS部OB)

[山内洋至、大河内俊晴、大野哲郎、

野田古彦、宮川裕寿]

2位…ニューセンチュリー2

[久保康彦(89A042)、横田哲也(89A098)

河村正幸(89A039)、飯田幸宏(89A004)

勝上 仁(89A029)]

3位…自どう車部(自動車部)

[加藤憲泰(89M056)、森田英樹(89M207)

若松美紀(89M227)、窪田悟史(90M070)

田中公英(90C059)]



## 大同学園50周年記念事業

### 新図書館建設に伴う寄付募金の報告

新年明けましておめでとうございます。同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、大同学園50周年記念新図書館建設募金に際しましては、皆様方に大変お世話になりました。お陰をもちまして、昨年7月31日をもって募金を締めきらせていただきました。

皆様からいただきました協賛金は7月31日現在で、同窓生より1,071.7万円、同窓会事務局より1,000万円、総合計2,071.7万円に達しました。この寄付額を新図書館建設資金の一部として、役立てて頂くことになりましたので御了承下さい。

また、目標額には達する事が出来ませんでした。現在の同窓会の規模からいえば、よく集まったものと思っています。これも皆様方の御支援の賜物と心から深く感謝申し上げます。

新図書館は昭和63年6月着工、平成元年9月1日に開館致しました。建物は地上四階建て、図書収容能力20万冊、その他、最新鋭の設備の整った図書館として、学生達の学問、憩いの場として、大同学園のシンボリック的存在となるでしょう。

我が母校も卒業生が9,000人を越え、現在中部の中堅大学として目覚ましい発展を遂げつつあります。入学希望者も年々増加の一途をたどりつつあります。これも、同窓生の皆様の社会での、ご活躍の賜物と信じております。これからの卒業生の為にも、実社会で活躍のできる教育の場を築いていく事が、私共卒業生の使命でもあります。今後も本学教育の推進の為、何かとご支援賜わります様に重ねてお願い申し上げます。

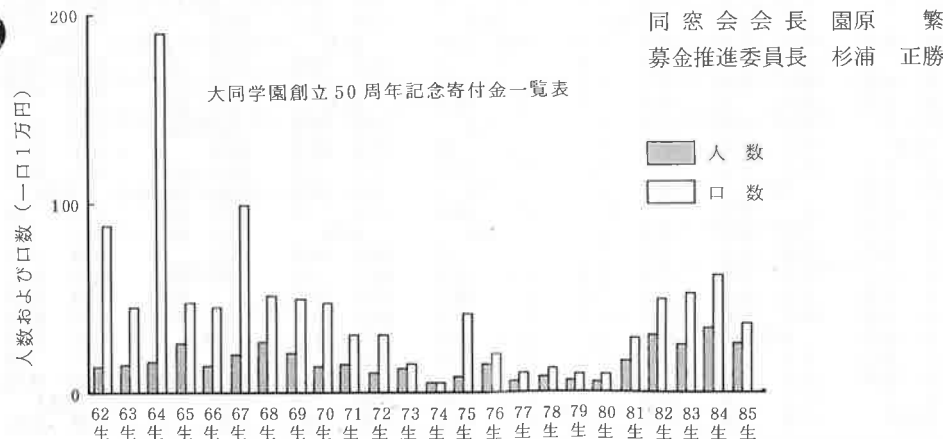
尚、参考までに、各卒業年次別の寄付者数と寄付口数(一口1万円)のグラフを載せておきましたので、ご覧下さい。

最後に皆様方の今後の御活躍と御健勝をお祈り申し上げます。

敬 具

大同学園50周年記念事業

大同工業大学同窓会図書館建設募金推進委員会 委員一同



寄付者名簿 (392名)

- |  |                        |   |                              |   |                                      |   |                   |   |   |  |   |  |  |   |                                    |                           |   |  |   |   |  |   |   |   |   |   |   |   |   |   |                             |             |  |   |   |   |   |   |   |                 |   |   |   |   |   |   |                                     |
|--|------------------------|---|------------------------------|---|--------------------------------------|---|-------------------|---|---|--|---|--|--|---|------------------------------------|---------------------------|---|--|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----------------------------|-------------|--|---|---|---|---|---|---|-----------------|---|---|---|---|---|---|-------------------------------------|
| 62M 志彦 洋勝 弘次 典議 英男 樹樹 彦<br>天杉 浦美 山中 野羽 崎瀨 島中 夏馬 藤枝 蒔 | 63E 浩夫 二 淳謙<br>榎川 瀬川 早 | 63M 司繁 士治 治平 博仁 男晃<br>加藤 林下 上木 浦 崎武 長宮 峯岸 久間 正晃 | 64E 繁次 古 信比 古<br>園原 谷山 田忠 比古 | 64M 彦弘 明樹 二一 洋勝 勝雄 一<br>青木 沢原 田口 尾端 部宅 山本 達島 藤内 久善 保彦 治久 勇徳 和信 隆一<br>65E 史彦 彦治 治久 勇徳 和信 隆一<br>愛知 部松 中木 谷井 田丹 前村 吉 | 65M 卓雄 進 誠<br>嵐木 村柳 本社 岡幸 藤 青木 赤井 石黒 | 66E 夫司 男雄 元三 健二 慎<br>後藤 藤田 倉川 津木 三 勝一 實信 夫弘 生 康博 等 廣 芳 諄<br>67E 治市 剛滿 治雄 二保 男道 博知 康進 明長 敏 善義 郎夫 隆平 仲 一<br>68E 武一 雅由 雅正 重秀 隆七 義通 之 三 夫司 男雄 元三 健二 慎<br>塚浦 島川 折内 浦田 尾園 福岡 西郷 井 後 藤 藤田 倉川 津木 三 勝一 實信 夫弘 生 康博 等 廣 芳 諄<br>69E 謙一 勇和 祥則 立二 治 登洋 大 光 治 博 等 廣 芳 諄<br>70E 豪政 義貴 夫造 廣治 常夫 弘一 二 治 方 正行 雄尚 昌男 好昭 憲和 峰昌 出男 悦昭 正行 雄尚 昌男 好昭 憲和 峰昌 出男 悦昭 正行 雄尚 昌男 好昭 憲和 峰昌 出男 悦昭 | 71M 重晴 茂<br>伏屋 井尻 | 72E 純秀 一武 充司 郁正 修司 永幸 史紀 策 也之 資親 雄治 裕 俊男 仁 仲 吾 祐 司 明雄 郎 薫 和 正 均 義 久 隆 忠 和 勝 則 一 夫 美 弘 孝 治 昌 弘 彰 和 美 | 72M 矢名 西前 73E 泰弘 仁 宏 建 策 也之 資親 雄治 裕 俊男 仁 仲 吾 祐 司 明雄 郎 薫 和 正 均 義 久 隆 忠 和 勝 則 一 夫 美 弘 孝 治 昌 弘 彰 和 美 | 73M 北熊 清瀧 富長 永島 田 橋 祐 司 明雄 郎 薫 和 正 均 義 久 隆 忠 和 勝 則 一 夫 美 弘 孝 治 昌 弘 彰 和 美 | 74E 浅野 垣大 野 奥野 橋 祐 司 明雄 郎 薫 和 正 均 義 久 隆 忠 和 勝 則 一 夫 美 弘 孝 治 昌 弘 彰 和 美 | 74M 木藤 城山 宮下 伊藤 澤原 山田 大谷 原 植 田 上川 近藤 竹澤 赤都 竹 梶 原 榊 原 | 75C 木藤 城山 宮下 伊藤 澤原 山田 大谷 原 植 田 上川 近藤 竹澤 赤都 竹 梶 原 榊 原 | 75E 伊藤 澤原 山田 大谷 原 植 田 上川 近藤 竹澤 赤都 竹 梶 原 榊 原 | 76A 大谷 原 植 田 上川 近藤 竹澤 赤都 竹 梶 原 榊 原 | 76E 上川 近藤 竹澤 赤都 竹 梶 原 榊 原 | 77A 健一 和 治 弘 一郎 廉 和 人 一 紀之 孝一 昭 彦 春 定 利 幹 雄 光 彦 浩 利 政 伸 昌 信 誠 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 77E 北島 角二 芳 治 弘 一郎 廉 和 人 一 紀之 孝一 昭 彦 春 定 利 幹 雄 光 彦 浩 利 政 伸 昌 信 誠 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 77M 馬方 新一 郎 廉 和 人 一 紀之 孝一 昭 彦 春 定 利 幹 雄 光 彦 浩 利 政 伸 昌 信 誠 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 78C 渡辺 太田 田 河 合 木 木 増 白 瀧 松 原 前 田 近 藤 山 口 酒 白 井 前 川 杉 澤 藤 原 築 瀬 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 78E 太田 田 河 合 木 木 増 白 瀧 松 原 前 田 近 藤 山 口 酒 白 井 前 川 杉 澤 藤 原 築 瀬 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 79A 白 瀧 松 原 前 田 近 藤 山 口 酒 白 井 前 川 杉 澤 藤 原 築 瀬 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 79E 前 田 近 藤 山 口 酒 白 井 前 川 杉 澤 藤 原 築 瀬 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 79M 酒 白 井 前 川 杉 澤 藤 原 築 瀬 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 80A 杉 澤 藤 原 築 瀬 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 80C 藤 原 築 瀬 眞 一 彦 宏 一 善 善 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 80E 伊 東 上 村 木 下 村 岡 金 田 島 天 野 新 海 中 山 守 山 米 梅 沢 丸 成 西 田 中 井 北 原 小 出 | 81A 伊 東 上 村 木 下 村 岡 金 田 島 天 野 新 海 中 山 守 山 米 梅 沢 丸 成 西 田 中 井 北 原 小 出 | 81C 金 田 島 天 野 新 海 中 山 守 山 米 梅 沢 丸 成 西 田 中 井 北 原 小 出 | 81E 天 野 新 海 中 山 守 山 米 梅 沢 丸 成 西 田 中 井 北 原 小 出 | 81M 梅 沢 丸 成 西 田 中 井 北 原 小 出 | 82A 北 原 小 出 | 82C 裕也 男 豊 文明 洋一 之 洋 久 一 維 明 弘 志 呂 浩 次 光 佳 裕 幸 智 洋 秀 正 樹 浩 和 茂 浩 佳 久 義 昌 論 修 實 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 82E 高 典 善 良 信 光 義 博 幸 久 博 志 呂 浩 次 光 佳 裕 幸 智 洋 秀 正 樹 浩 和 茂 浩 佳 久 義 昌 論 修 實 則 千 速 生 一 淳 博 彰 人 司 敏 高 弘 二 巧 夫 博 雄 昌 弘 剛 紀 二 正 行 | 82M 梅 原 本 加 藤 宮 藤 田 洞 波 福 松 森 山 根 岩 原 西 田 谷 口 鶴 村 岩 山 崎 佐 野 市 古 森 秋 田 丸 月 大 野 小 保 田 勝 鐵 佐 野 竹 内 水 谷 野 森 山 内 瀬 江 上 村 鳥 居 | 83A 岩 原 西 田 谷 口 鶴 村 岩 山 崎 佐 野 市 古 森 秋 田 丸 月 大 野 小 保 田 勝 鐵 佐 野 竹 内 水 谷 野 森 山 内 瀬 江 上 村 鳥 居 | 83C 谷 口 鶴 村 岩 山 崎 佐 野 市 古 森 秋 田 丸 月 大 野 小 保 田 勝 鐵 佐 野 竹 内 水 谷 野 森 山 内 瀬 江 上 村 鳥 居 | 83E 岩 山 崎 佐 野 市 古 森 秋 田 丸 月 大 野 小 保 田 勝 鐵 佐 野 竹 内 水 谷 野 森 山 内 瀬 江 上 村 鳥 居 | 83M 秋 田 丸 月 大 野 小 保 田 勝 鐵 佐 野 竹 内 水 谷 野 森 山 内 瀬 江 上 村 鳥 居 | 84A 瀬 江 上 村 鳥 居 | 84C 濱 口 村 有 働 藤 石 井 粥 栗 梅 篠 相 高 都 中 西 長 平 阿 原 田 倉 部 細 尾 中 西 山 野 川 福 岡 下 本 浅 井 藤 澤 西 廣 浦 填 山 田 太 田 納 柴 服 部 奈 岡 本 勝 間 小 道 正 丸 山 大 石 大 加 藤 神 谷 田 中 濱 田 村 山 田 市 野 | 84E 石 井 粥 栗 梅 篠 相 高 都 中 西 長 平 阿 原 田 倉 部 細 尾 中 西 山 野 川 福 岡 下 本 浅 井 藤 澤 西 廣 浦 填 山 田 太 田 納 柴 服 部 奈 岡 本 勝 間 小 道 正 丸 山 大 石 大 加 藤 神 谷 田 中 濱 田 村 山 田 市 野 | 84M 阿 原 田 倉 部 細 尾 中 西 山 野 川 福 岡 下 本 浅 井 藤 澤 西 廣 浦 填 山 田 太 田 納 柴 服 部 奈 岡 本 勝 間 小 道 正 丸 山 大 石 大 加 藤 神 谷 田 中 濱 田 村 山 田 市 野 | 85A 智 登 子 公 元 健 明 子 泰 右 浩 史 和 幸 之 美 朋 克 宏 裕 之 雅 博 健 志 彰 豐 夫 丈 訓 勝 俊 強 健 吾 善 久 | 85C 智 登 子 公 元 健 明 子 泰 右 浩 史 和 幸 之 美 朋 克 宏 裕 之 雅 博 健 志 彰 豐 夫 丈 訓 勝 俊 強 健 吾 善 久 | 85E 岡 本 勝 間 小 道 正 丸 山 大 石 大 加 藤 神 谷 田 中 濱 田 村 山 田 市 野 | 86M 大 石 大 加 藤 神 谷 田 中 濱 田 村 山 田 市 野 |
|--|------------------------|---|------------------------------|---|--------------------------------------|---|-------------------|---|---|--|---|--|--|---|------------------------------------|---------------------------|---|--|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|-----------------------------|-------------|--|---|---|---|---|---|---|-----------------|---|---|---|---|---|---|-------------------------------------|

事務局だより

去る10月6日に、図書館建設募金推進委員会の解散式が、名古屋市内・愛知会館にて、開催されました。(学園本部より大江事務長が出席され推進委員各位に対して、謝辞がありました。)



愛知県地区私立12大学会長懇談会報告

去る10月28日・愛知会館において名城大学同窓会の呼びかけで愛知県地区私立大学同窓会会長の懇談会があり、本学からは山田副会長が出席されました。開催の目的は同窓会運営についての情報交換ということで、支部組織・財政等の話し合いがなされました。

名簿掲載広告(企業紹介)募集

新版名簿に掲載します広告(企業紹介)を募集します。掲載の対象は自営の会員を中心としますが、複数の卒業生が在職中の企業も歓迎いたします。

掲載方法: B5用紙で1頁もしくは1/2頁分で企業紹介欄に掲載します。

掲載料: 1頁分 40,000円  
1/2頁分 20,000円  
名簿を進呈します。

申込方法: 原稿を送付して下さい(別紙に卒業生の学籍番号・氏名をお書き下さい)

掲載料は郵便振込にて納金して下さい。

郵便振込  
名古屋9-56363  
大同工業大学同窓会

締切: 平成3年1月末日

名簿掲載名刺紹介募集

新版名簿に掲載します名刺紹介を募集しています。各界でご活躍の皆様を紹介し、ご繁栄のお手伝いをいたします。多数の掲載をお待ちします。

掲載方法: 名刺紹介欄に名刺を掲載します。(1頁 4件)

掲載料: 5,000円/1件  
名簿を進呈します。

申込方法: 名刺を送付して下さい(名刺の裏に学籍番号を記入願います)。

また、掲載料は郵便振込にて納金して下さい。

郵便振込  
名古屋9-56363  
大同工業大学同窓会

締切: 平成3年1月末日

## ◆新版（1991年版）名簿発刊について

1991年版（1990年度版）同窓会会員名簿を3月に発刊する予定で、現在準備しています。本会報を送付いたしました宛先に誤りがある場合、同封の調査票にて至急ご連絡下さい。

新版名簿は有償にて会員の希望者に配布します。ご希望の方は郵便振込にて代金をお支払下さい。4月上旬に郵送にてお届けします。

発刊予定：平成3年3月末

体 裁：B5サイズ・250頁

配 布 価：5,000円／1冊

予約受付：代金払込にて受付ます。

郵便振込

名古屋9-56363

大同工業大学同窓会



## 編集後記

同窓会本部役員の人事移動により、昨年からは新会長並びに三役が交代されました。前会長の新美氏をはじめとして、これまで務められた役員の皆様たいへんご苦労さまでした。新会長に就任されました園原氏、並びに新役員諸氏にはこれからの同窓会の更なる発展のために頑張ってもらわなければなりません(その力は充分に持っておられると確信しております)。その意味で、今号の最初に新会長が述べられた「年の始めにあたり」は非常に興味が持たれます。

ところで、我々編集委員も今年で6期連続務めさせて頂いておりますが、会員諸氏の生の声をお届けする「お元気ですか」や、「サークルだより」、「支部だより」のコーナーが次

第に少なくなる一方で、スタッフ一同力不足を痛感せざるを得ません。この会報をより皆さんに近づけるためには、会員の皆様のご協力がぜひとも必要ですので、よろしくお願い致します。

また現在、編集委員のスタッフの拡充を考えています。編集関係に興味をお持ちの方はご連絡下さい。

発行	大同工業大学同窓会 名古屋市南区大同町2-21 TEL (052) 611-0513 FAX (052) 612-5653
責任者	会長 園原 繁
印刷	名港印刷株式会社